

授業科目名： 保育内容（言葉）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 嶋田 優 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容（言葉）における専門的事項について指導する。		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
幼児期の言葉の発達・領域「言葉」のねらいや内容について理解するとともに、保育者としての役割や指導法、環境構成の整え方についての理解を深める。また、児童文化財の扱い方や活用の仕方を学び、実践力を身に付けていく。			
授業の概要			
幼児は、園生活の中で多様な体験や人とのかかわりを通して、生活に必要な言葉を獲得していく。これらの体験を通して、表現力、思考力や社会性を身に付けていく。また、絵本や物語などの児童文化財に親しむ中でも、感性や言語感覚、想像力を豊かにする。こうした幼児の成長にそった言葉の発達を理解し、保育者の役割・援助・環境の整え方について学び、実践力を高めていく。			
授業計画			
第1回：幼児の言葉の環境・言葉の機能 第2回：領域「言葉」の「ねらい及び内容」 第3回：言葉の発達 乳幼児期～乳児期後期 第4回：人や動植物とのかかわりの中で育まれる言葉 第5回：遊びや伝え合い・話し合いの中で育まれる言葉 第6回：児童文化財とのかかわりの中で育まれる言葉 第7回：言葉に遅れのある幼児や障害のある幼児に対する援助のあり方 第8回：児童文化財の活用・展開①（手遊び・言葉遊び・わらべ歌遊び） 第9回：児童文化財の活用・展開②（絵本・紙芝居） 第10回：児童文化財の活用・展開③（ペープサート・パネルシアター・人形劇） 第11回：児童文化財と情報機器を活用した活動 第12回：ごっこ遊びと劇遊び 第13回：児童文化財を活用した指導計画・指導案の作成 第14回：指導案を基にした模擬保育の実施と振り返り 第15回：異文化や外国語への興味・理解の広がり 科目修得試験			
スクリーニングでの学修			
テキスト			
文部科学省「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」フレーベル館 ISBN 978-4-577-81447-5			
参考書・参考資料等			
保育所&幼稚園 実習の記録と指導案 まるごとBOOK KADOKAWA 978-4046051370			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			